

こんにちは日本共産党
泉南市会議員団
です

泉南市議会9月議会報告(続報)

11月臨時議会報告

市町村合併

長い目で考えよう

3市2町借金現在高

(単位:百万円)

市 町	地方債現在高
泉南市	23,808
泉佐野市	77,479
阪南市	15,456
田尻町	6,425
岬町	12,376
計	135,544

「研究会」に参加した三市二町が合併す

合併すれば市民サービスはさらに悪化する

「研究会」に参加した三市二町が合併すれば、市民サービスの向上につながるのか、住民自治の主人公である市民の声も聞かずに「合併協定原案」を二月までに策定しようとしていることについて向井市長に質問しました。

市が 大きくなれば一人当たりの借金が

十九万円増の五十五万円に

借金のツケは市民に押し付け、福祉・教育はさらに悪化

府下でも積極的な合併推進者で名が通っている向井市長は、これまでの阪南市、岬町との合併規模をさらに拡大して、泉佐野市、田尻町を加え、二〇〇五年度中に新しく人口約二五万の市をつくらうと、「泉州南広域行政研究会」を立ち上げました。党議員団は、国が押し付けてくる合併が市民になにをもたらすのか、市民のくらしや生活はどうなるのか、財政危機が回避され、市民サービスの向上につながるのか、住民自治の主人公である市民の声も聞かずに「合併協定原案」を二月までに策定しようとしていることについて向井市長に質問しました。

合併による新規事業で莫大な借金が増え、財政はパンク

老朽校舎や保育所の改修は新規事業の対象外

合併にともなう大型の公共事業(駅前整備、広域幹線道路、一極集中型の公共施設)の建設は認められるが、国からの補助はなく、七五%が借金。その上、市民が希望する高齢者や子ども達にやさしい街づくりや老朽校舎の改修等は対象外。市が大きくなれば十年後には引き下がる交付税と合わせて、十四年後にはピークになる借金の返済で財政事情はさらに悪化することになると追及しましたが、市長からは「協議の場へ持ちこめば可能」と裏付けを示さない、あいまいな答弁しかかえってきませんでした。

回収の見通しなく 解放同盟に甘い幕引き

同和更正貸付資金

五二〇〇万円が未回収

なぜ、貸した金が

回収できないのか

泉南市同和更正貸付資金(同更資金)六二五〇万円(市民の税金)のうち五一〇〇万円が未回収になっています。

これは「解放同盟に甘い市政」により督促も集金もせず、時効なるまで資金の回収を放置していたことによるものです。「ずさんな公金の取り扱い」の責任をとり市職員二〇名が処分を受けました。

しかし市から「職員の処分」について経過報告もなく「なぜ、貸した税金が回収できないのか」という説明はありません。

見通しのない

回収計画

四〇年近くかかっても一〇〇〇万円しか回収できないのに、市は今後三〇〇〇万円を二年間で回収するという「努力目標」をあげています。しかし、借り手の大半が時効を迎え、死亡や市外に転出も多くあります。具体的な回収計

画もない「努力目標」は幕ひきの手段にすぎないのではないのでしょうか。

道義的責任ですまない

「解放同盟」鳴滝支部

解放同盟鳴滝支部(支部長・巴里英一市会議員)はこの資金の集金や貸付業務にかかわり、市長に道義的責任を認めた「文書」を出しています。しかし市は解同鳴滝支部の集金業務に対し支払っていた支部助成金の返還など求めていません。「文書」の公開もされず、道義的責任を認めたことで免罪できるものではありません。

市長の責任

連続する減給処分

市長は十一月の臨時議会で「同更資金の不適切な事務執行について、市長の監督責任」をとって三ヶ月の給料十分の一減給の処分を受けます。これは八月の「市長印の無断使用」に続く減給処分となります。また選挙で市長は解放同盟鳴滝支部から推薦を受けています。

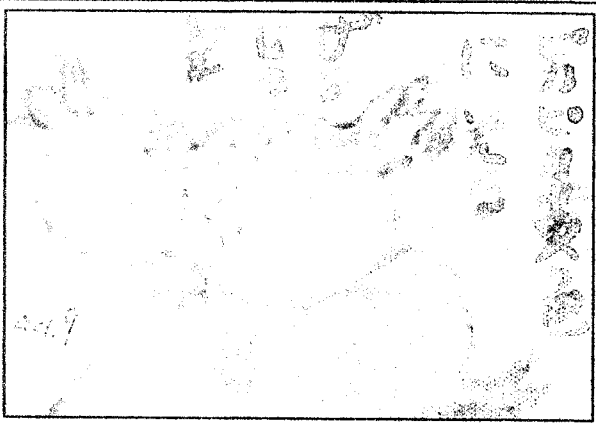
徹底解明し
市民に報告を

「行革」で市民にいつごろの負担を強い る2001年度一般会計決算認定に反対!

共産党議員団は①空港・同和優先の事業がもたらした市借金(市債)は、二二三億円となり、その影響で一般会計は四年連続の赤字で、二〇〇一年度も一億四二六一万円の赤字。市税収入も前年度比一億五三〇〇万円の減。市税滞納額は、不納欠損額四億四九〇〇万円を除いても一六億九〇〇〇万円と、税収は府下で最悪です。

財政状況の基準となる経常収支比率(一〇〇以上を越えると最悪)は、一〇〇・七で全国で十三番目の高さです。市民負担ばかり強い「行革」を推進する一方「市財政」は、良くなるばかりかますます悪くなっています。

②不況とリストラで市民生活が大



絵手紙：前田千代子作

変なとき、雇用対策費は八年前の二分の一、その反面「行革」では、二〇〇一年度だけで、高齢者福祉見舞金・保育所保育料・就学援助費等、福祉・教育を中心に三億二八〇〇万円を削減し、老朽化した校舎は整備をしないなど、市民生活はますます悪くなるばかりです。

③ムダな公共事業として、総額二十七億円、年間運営経費五〇〇〇万円以上も必要とする農業公園事業に四億円以上使い、泉南計画についても財政見通しのないまま計画を進めています。

さらに「経営赤字」と、二期工事の見直しが出ている閑空の現状を無視した見通しのない「南ルート」

和泉砂川駅前整備は 歩道設置、バリアフリー化促進など 安全対策最優先で

和泉砂川駅前再開発事業について、党議員団は、「採算の見通しがなく、市財政に大きな負担を与える駅前ビル中心としたムダな公共事業を凍結させよ」と追求し、この事業を凍結させました。そして、遅れている交通渋滞などの対策こそ優先して進めるよう求めてきました。市は今年度、交通バリアフリー法に基づく駅

前整備を提案してきました。しかし党議員団は、急がれている府道駅前停車場線の拡幅、歩道設置などの安全対策にのみしぼって府と交渉するよう求めてきました。市長から「駅前整備については、バリアフリー化事業として道路整備などを優先していきたい」と答弁がありました。

を勧めているとして、二〇〇一年度一般会計決算認定に反対しました。

「行革」が進めれば、ますます不便となる?

日本経済新聞の二〇〇二年九月二

2001年度「行革」で削減した主な項目	
①高齢者福祉見舞金の廃止	110万円
②要保護及び準保護児童生活援助費の削減	304万円
③保育料の値上げ	1851万円
④物件費5%の削減	5889万円
⑤人件費	2億3477万円
総額	3億2800万円

三日付「改革度ランキング」の「利便度」の調査で、泉南市は二九点満点のうち0.八点で全国で六七二位でもっとも低いことがわかりました。(利便度の対象は窓口の総合化・図書館の閉館時間など十二項目を調査)

30人学級の早期実現と 学校施設の改善を要求

この4月から週5日制になったことで土曜日の授業が平日に振り分けられたため1日の授業時間が長時間となり先生も子どもも非常に疲れています。その上新しく総合的学習の時間が取り入れられたので先生方はその対応にも大変な労力を費やしています。5日制度は時代の流れといえますが今までの1クラス40人近い人数では先生も子どもも大変です。早急に30人以下学級の実現で先生の目が一人一人の子どもの達に行き渡るようにすべきだと質問しました。また土曜日の子ども達を受け入れる児童館のような施設も必要です。そのほかにもトイレの改修やクローラー設置についても要求しました。



共産党議員団は、当番を決めて市役所議員控室で、生活相談を受け付けます。

月曜日 松本議員、
水曜日 和気・前田議員、
木曜日 大森議員、
金曜日 成田議員

時間は午前9時より12時まで

お気軽に 日本共産党市会議員団 ご相談ください



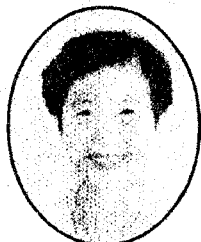
前田
千代子

TEL. 84-2097
信達牧野1000-63



大森
和夫

TEL. 85-0620
新家3524-2



松本
かよ子

TEL. 84-2216
信達牧野332-2



成田
肇

TEL. 82-6837
一丘団地74-102



わけ
肇

TEL. 82-5505
信達市場116-230